

10. 連立方程式の応用(代金問題)

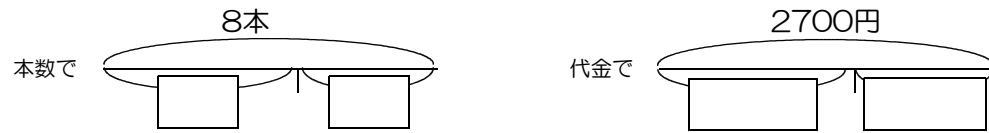
例題1 1本300円のバラと、1本400円のゆりをあわせて8本買うと、代金が2700円になった。バラとゆりをそれぞれ何本買ったのでしょうか？

➡ ポイント ①求めたい数量を x , y とおく。

②文中から方程式が作れる関係を見つける。

【解答】 バラの本数を _____ 本, ゆりの本数を _____ 本とすると ← この文が大切!

~考え方~



個数より・・・
 代金より・・・

$$\begin{cases} x = \\ y = \end{cases}$$

バラ _____ 本, ゆり _____ 本

《練習1》 山下さんは、1個100円のシュークリームと1個130円のプリンをあわせて10個買い、1120円払いました。シュークリームとプリンの個数を、それぞれ求めなさい。

【解答】 _____ とすると

{

シュークリーム _____ 個, プリン _____ 個

例題2 2種類の菓子A, Bがあります。A2個とB1個では180円, A1個とB2個では150円です。A1個, B1個の値段は、それぞれいくらですか？

ヒント! 文中から2つの方程式をみつけよう!

$$(A2個の値段) + (B1個の値段) = 180 \text{ (円)}$$

$$(A1個の値段) + (B2個の値段) = 150 \text{ (円)}$$

【解答】 A1個の値段を _____ 円, B1個の値段を _____ 円とすると ← この文が大切!

{

A1個 _____ 円, B1個 _____ 円

《練習2》 2種類のかんじゅースA, Bがあります。A3本とB1本では460円, A1本とB3本では420円です。A1本, B1本の値段はそれぞれいくらですか？

【解答】 _____ とすると

{

A1本 _____ 円, B1本 _____ 円